



2026年8月17日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

13,098万kW

14時30分、130,977 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,086万kW

11時30分、40,857 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

129万kW

4時30分、1,291 MW

◇ 再エネ最大需要比

41.0%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

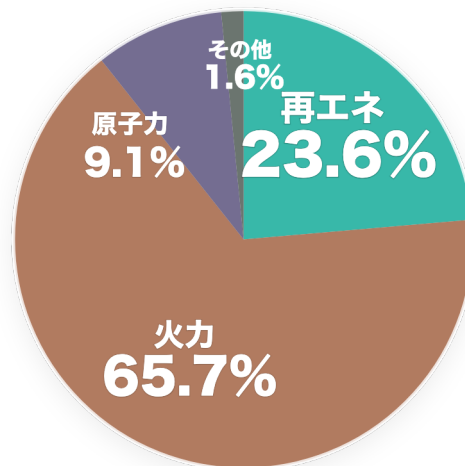
東京

107 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

111 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 44.1%

38.7 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

43.0 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:30に4,110万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで44.1%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	23.6%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	593 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,510 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	41.0%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	43.0 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	44.1%	38.7	0.0	送電 7.3
東北	28.0%	91.9	0.0	送電 111
東京	17.9%	123	0.0	受電 107
中部	32.2%	98.4	0.0	受電 81.5
北陸	31.3%	24.9	0.0	送電 0.4
関西	15.5%	60.9	0.0	受電 30.5
中国	22.3%	39.2	0.0	送電 7.2
四国	26.2%	29.6	0.0	送電 40.0
九州	26.9%	83.0	0.0	送電 32.6
沖縄	11.0%	3.4	0.0	—



2026年8月17日の供給実績

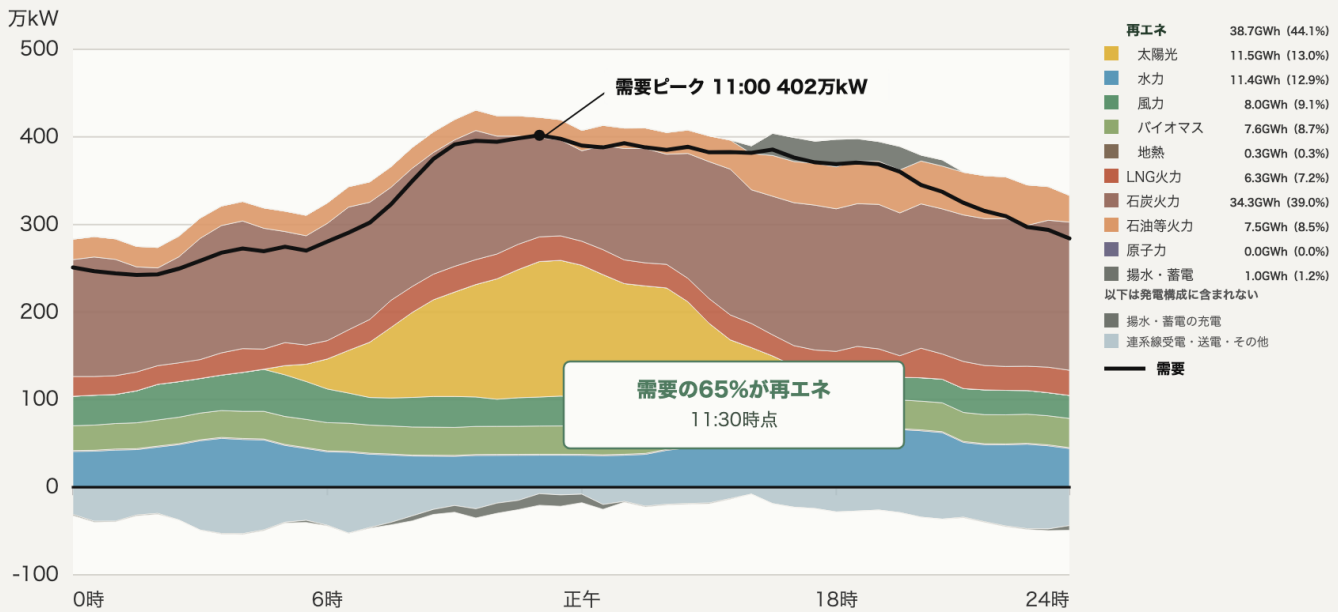
北海道エリア

再エネ

38.7GWh

(発電電力量ベース44.1%)

北海道エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

87.8GWh

需要ピーク

11:00、402万kW

連系線・その他

7.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク155万kW、風力ピーク48万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.1%だった。



2026年8月17日の供給実績

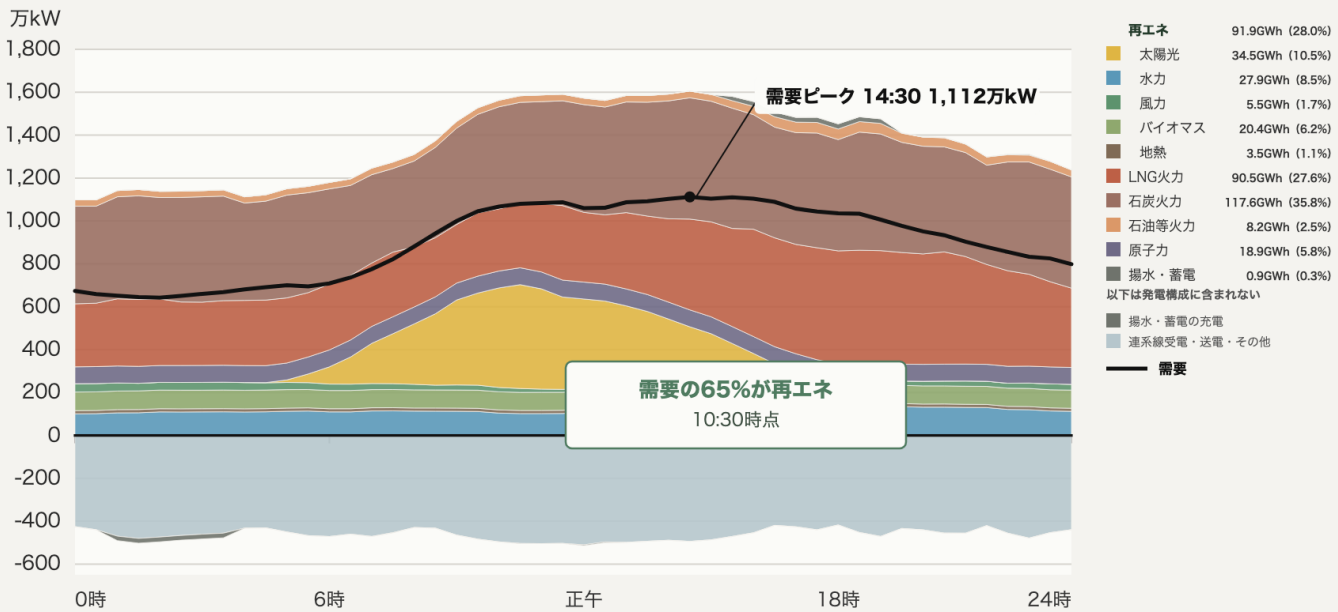
東北エリア

再エネ

91.9GWh

(発電電力量ベース28.0%)

東北エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

328.0GWh

需要ピーク

14:30、1,112万kW

連系線・その他

110.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク484万kW、風力ピーク39万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.1%だった。



2026年8月17日の供給実績

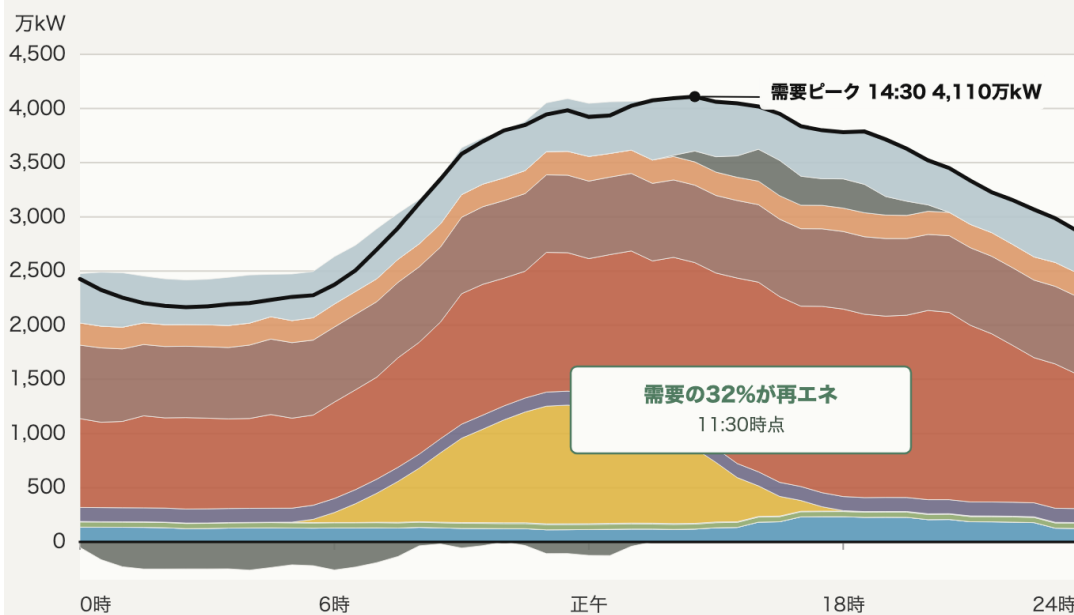
東京エリア

再エネ

123.4GWh

(発電電力量ベース17.9%)

東京エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 689GWh
(6,889万kW)

再エネ	123.4GWh (17.9%)
太陽光	74.9GWh (10.9%)
水力	35.8GWh (5.2%)
風力	1.4GWh (0.2%)
バイオマス	11.3GWh (1.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	302.7GWh (43.9%)
石炭火力	168.4GWh (24.4%)
石油等火力	50.9GWh (7.4%)
原子力	31.0GWh (4.5%)
揚水・蓄電	12.4GWh (1.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

688.9GWh

需要ピーク

14:30、4,110万kW

連系線・その他

107.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

20.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,095万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.8%だった。



2026年8月17日の供給実績

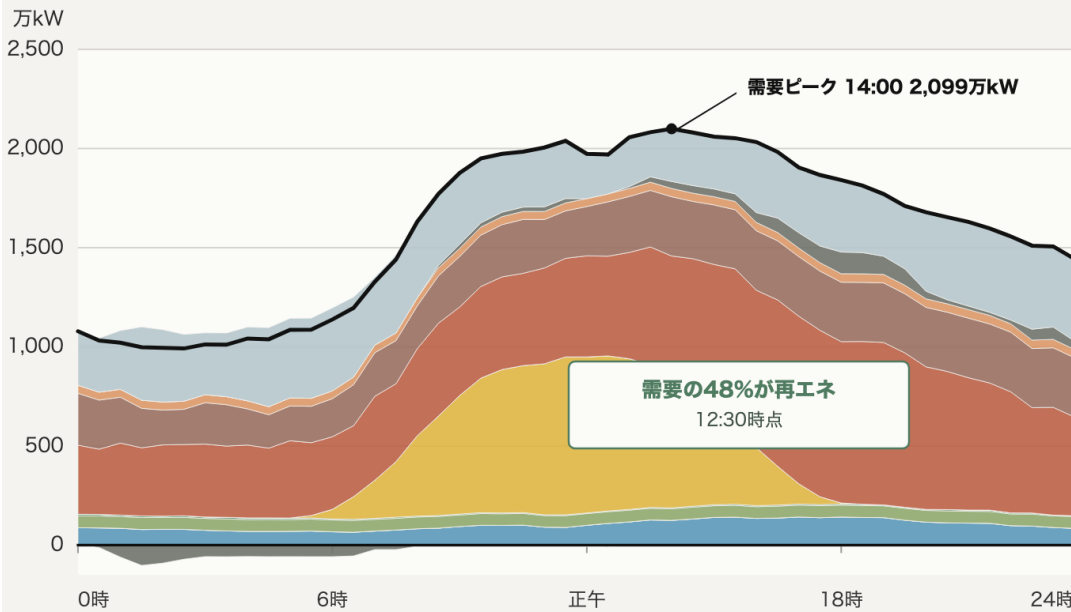
中部エリア

再エネ

98.4GWh

(発電電力量ベース32.2%)

中部エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 306GWh

(3,058万kWh)

再エネ	98.4GWh (32.2%)
太陽光	58.6GWh (19.2%)
水力	24.2GWh (7.9%)
風力	1.4GWh (0.4%)
バイオマス	14.3GWh (4.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	129.5GWh (42.4%)
石炭火力	61.5GWh (20.1%)
石油等火力	9.9GWh (3.2%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	6.4GWh (2.1%)

以下は発電構成に含まれない

揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他

— 需要

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

305.8GWh

需要ピーク

14:00、2,099万kW

連系線・その他

81.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

4.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク796万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.5%だった。



2026年8月17日の供給実績

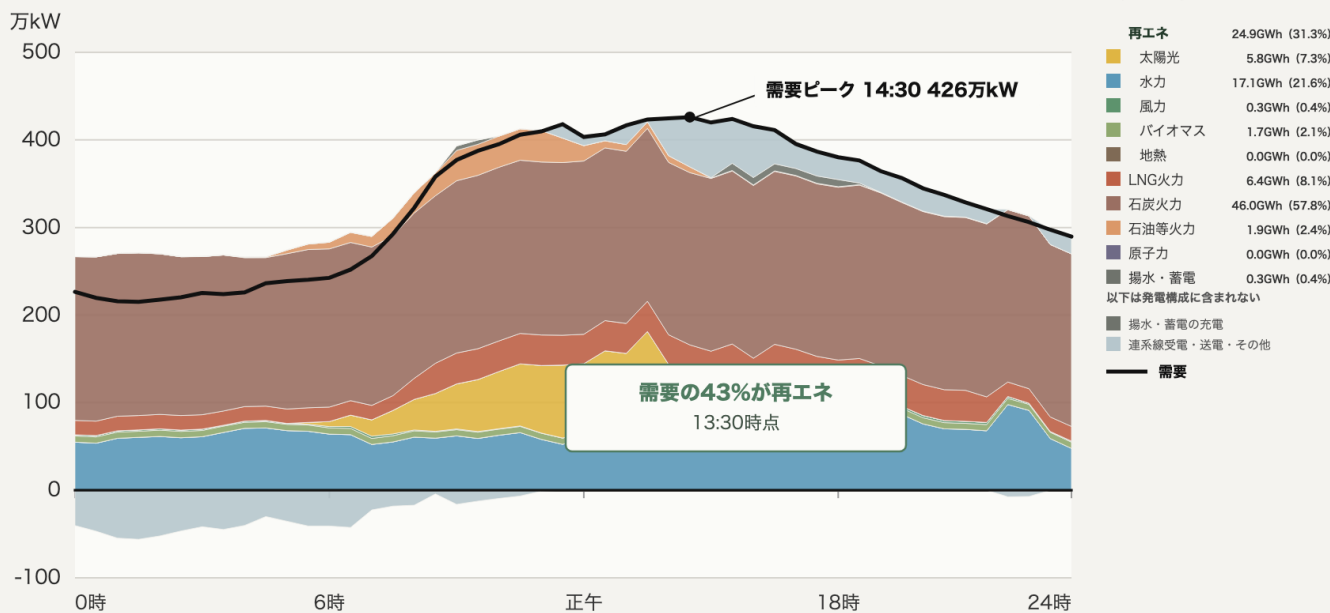
北陸エリア

再エネ

24.9GWh

(発電電力量ベース31.3%)

北陸エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

79.5GWh

需要ピーク

14:30、426万kW

連系線・その他

3.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク86万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.8%だった。



2026年8月17日の供給実績

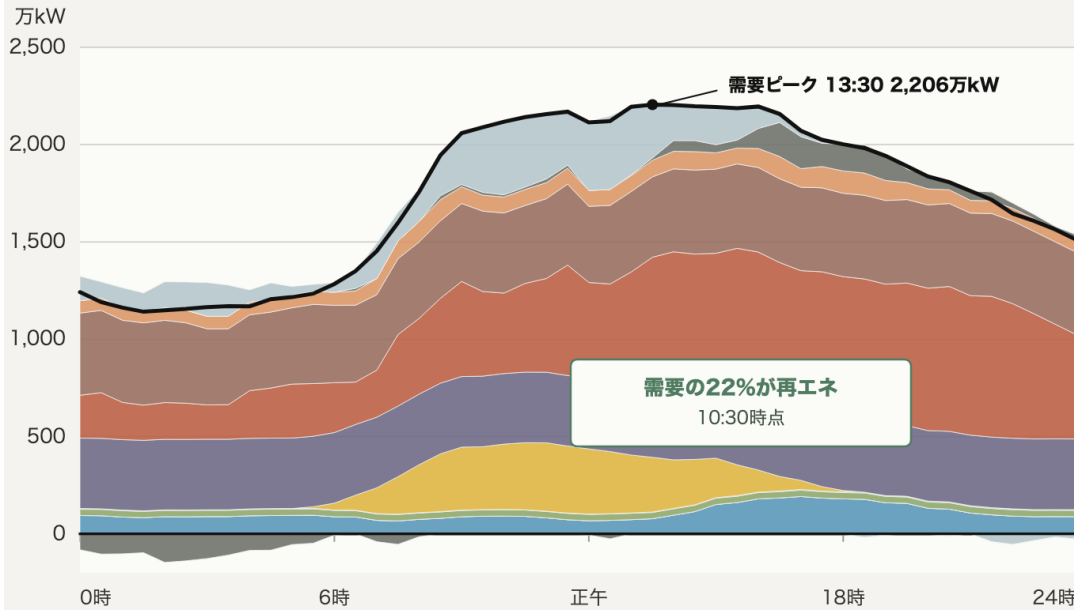
関西エリア

再エネ

60.9GWh

(発電電力量ベース15.5%)

関西エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 393GWh
(3,934万kWh)

再エネ	60.9GWh (15.5%)
太陽光	26.8GWh (6.8%)
水力	25.6GWh (6.5%)
風力	0.7GWh (0.2%)
バイオマス	7.8GWh (2.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	118.4GWh (30.1%)
石炭火力	99.4GWh (25.3%)
石油等火力	19.3GWh (4.9%)
原子力	87.0GWh (22.1%)
揚水・蓄電	8.4GWh (2.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

393.4GWh

需要ピーク

13:30、2,206kW

連系線・その他

31.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

6.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク352万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.9%だった。



2026年8月17日の供給実績

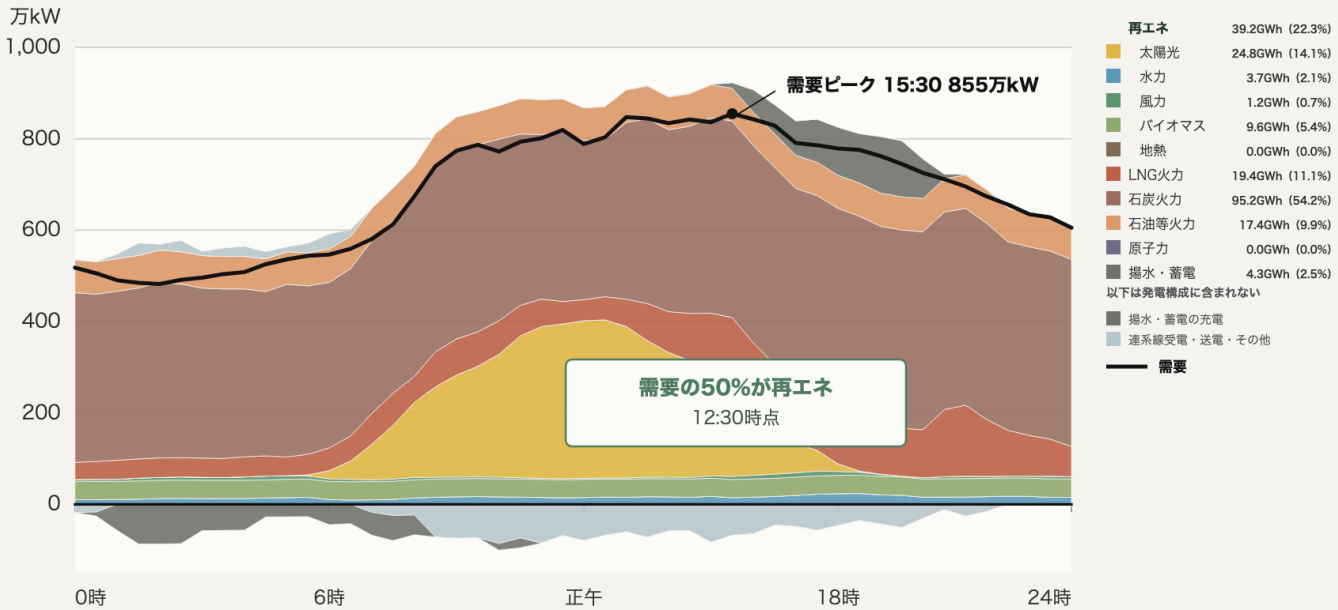
中国エリア

再エネ

39.2GWh

(発電電力量ベース22.3%)

中国エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

175.6GWh

需要ピーク

15:30、855万kW

連系線・その他

8.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

4.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク346万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.0%だった。



2026年8月17日の供給実績

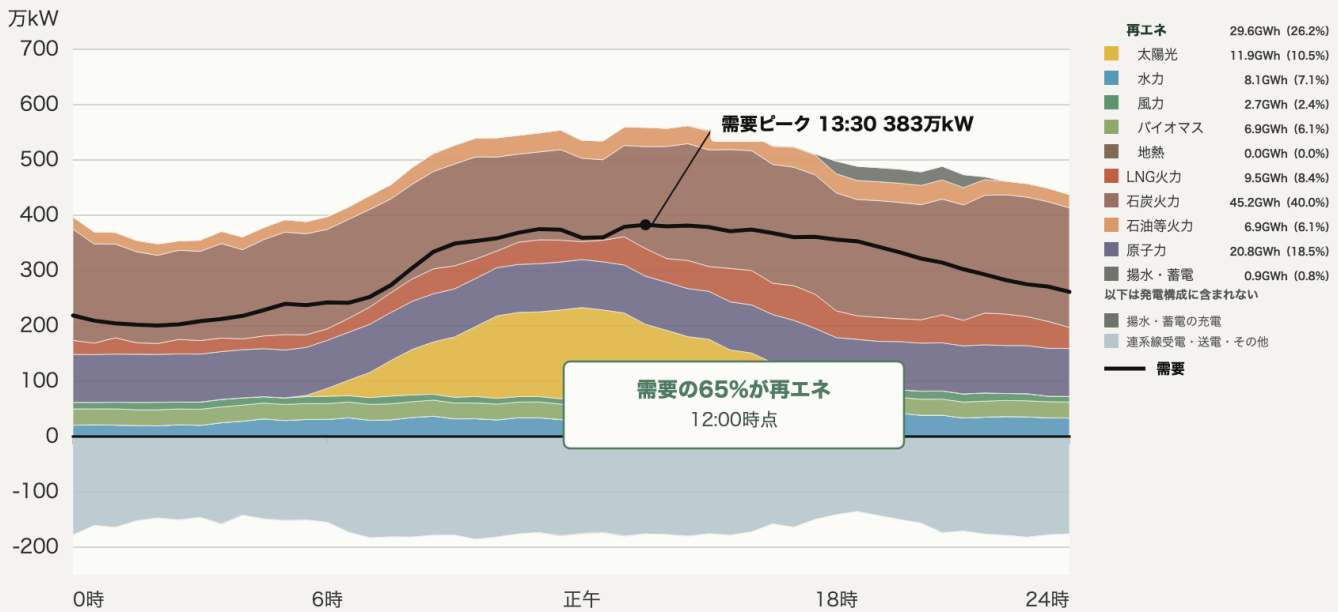
四国エリア

再エネ

29.6GWh

(発電電力量ベース26.2%)

四国エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

112.9GWh

需要ピーク

13:30、383万kW

連系線・その他

40.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク165万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.9%だった。



2026年8月17日の供給実績

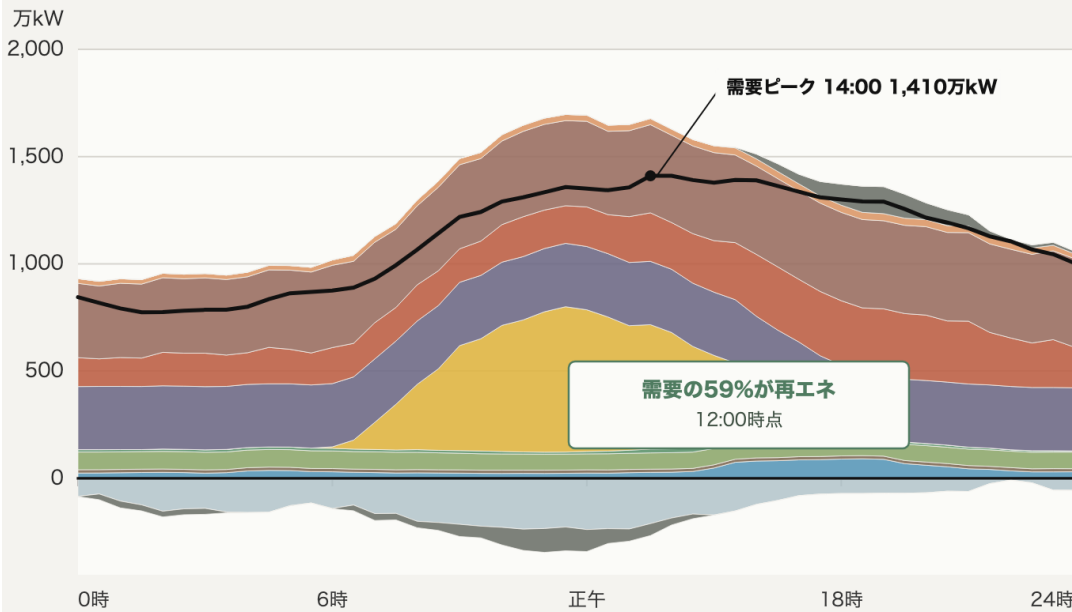
九州エリア

再エネ

83.0GWh

(発電電力量ベース26.9%)

九州エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 308GWh
(3,079万kWh)

再エネ	83.0GWh (26.9%)
太陽光	48.2GWh (15.6%)
水力	9.7GWh (3.1%)
風力	2.8GWh (0.9%)
バイオマス	18.8GWh (6.1%)
地熱	3.6GWh (1.2%)
LNG火力	49.5GWh (16.1%)
石炭火力	93.5GWh (30.4%)
石油等火力	6.6GWh (2.2%)
原子力	70.7GWh (23.0%)
揚水・蓄電	4.6GWh (1.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

307.9GWh

需要ピーク

14:00、1,410万kW

連系線・その他

32.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク678万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.9%だった。



2026年8月17日の供給実績

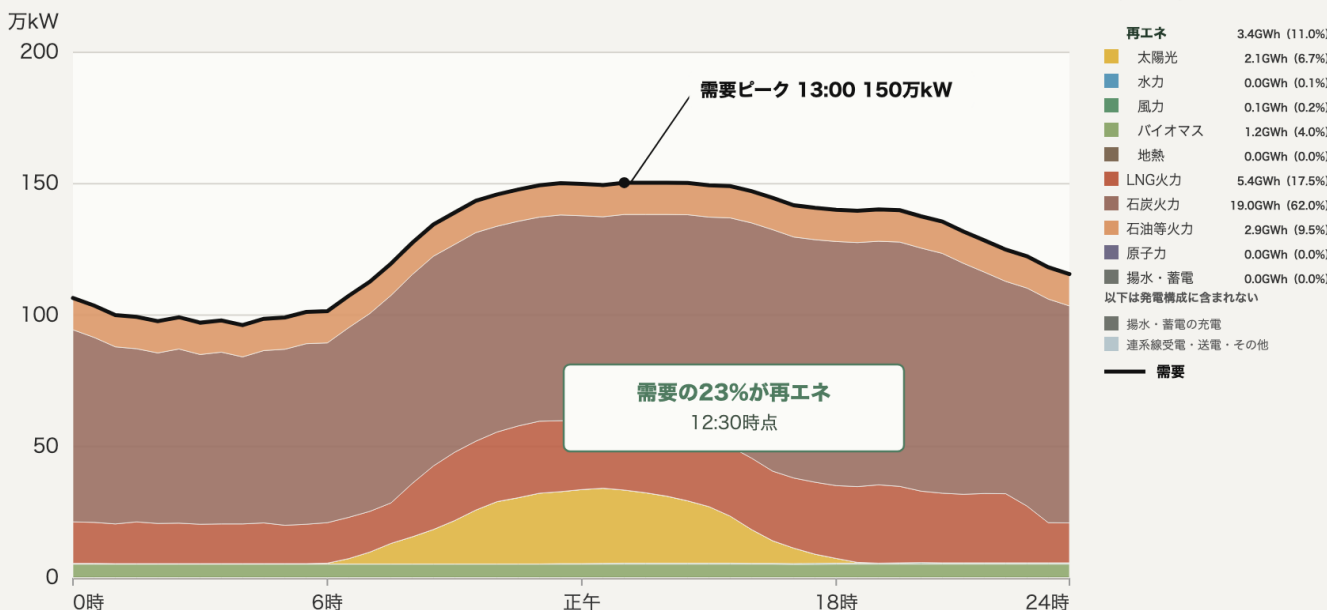
沖縄エリア

再エネ

3.4GWh

(発電電力量ベース11.0%)

沖縄エリア 2026年8月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

30.6GWh

需要ピーク

13:00、150万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.8%だった。